

ケロちゃん通信 第111号 2025年7月



あたごこどもクリニック



940-0038 長岡市琴平1丁目2-1 電話番号 0258-36-5810
http://www.nagaoka-iryuu-seikyuu.jp/



診療案内

- ・感染予防のため、発熱、かぜなどの急性疾患を主に診る
一般外来と慢性疾患（感染性のない疾患や定期処方など）を診る慢性外来の診療時間を分けています。

	月	火	水	木	金	土
8:30	一般外来 (急性疾患)					
11:00		予防接種 健診 (1歳未満)			予防接種 (1歳以上) 慢性外来	10:30~
11:45 12:00						
13:30	発達外来					
14:00	予防接種 健診 (1歳未満)	予防接種 (1歳以上) 慢性外来				
15:00	一般外来 (急性疾患)					
17:30						



☆ 梅雨になり、蒸し暑い日が続いています。梅雨明け後の猛暑も心配ですが、体調を崩さないようにお気をつけください。当院は7月1日で開院10周年になります。皆様のおかげでなんとかやってこれました。ほんとうにありがとうございました。

☆ 感染症は、胃腸炎、りんご病、百日咳、溶連菌、アデノ、マイコプラズマ、RSなど様々な感染症が見られますが、大きな流行はないように感じます。りんご病もほっぺが赤くならないで手足のみ発疹が出る方もいますのでお気をつけください。

☆ そろそろ、10月からのインフルエンザワクチンの予定もたてないといけません。インフルエンザの点鼻ワクチンもどれくらい普及するのか不明ですが、9月から予約開始しますのでよろしくお願いいたします。

☆ 高齢者の带状疱疹ワクチンの接種も受け付けていますので、ご近所の方やお孫さんが当院利用されている方など、どなたでもご利用ください。

7、8月の診療予定

本間医師 7月4日午前午後 7月11日午前
8月1日午前午後 8月 8日午前

7月 2日(水)休診

7月31日(木)休診

8月13日(水)、14日(木):お盆のため休診

8月23日(土)午後外来

7月12(土)午後外来

8月1日(金) 本間医師代診

- ・一般診察枠内にも予防接種枠がありますので、ご利用下さい。
- ・スマイリーでは、急性疾患は「一般外来」から、慢性疾患・定期処方等は「慢性外来」からご予約下さい。
- ・もちろん、急を要するような場合にはすぐに ご連絡下さい。
- 詳しくはホームページのお知らせをご覧ください。

10周年を迎えて

・10年前、クリニック周辺は隣の歯科医院以外は何もない原っぱでした。その後、裏に高齢者施設ができ、道路をはさんで向かい側に商業施設ができました。クリニックの前の道にも、横断歩道と信号ができました。この10年で周辺の景色は大きく様変わりしました。

・開院時は予約制ではなく来院順に診察していました。開院と同時にたくさんの方が受付され、わずかな受付時間の差で1,2時間待ちになってしまうこともあり、問題を感じていました。できるだけ院内での待ち時間を少なくするために、順番ではなく時間での予約制を2017年より導入しました。その後web問診も導入し、診察待ち時間の短縮に取り組んできました。またプライバシー配慮の観点から、名前での呼び出しはやめ、番号での呼び出しに切り替えました。

・外来では感染症の方が大半ですが、季節ごとに流行があり、加えて花粉症、喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患や夜尿症、便秘などの慢性疾患を含め診療してきました。抗菌薬や抗ヒスタミン薬の適正使用に心がけ、多くは自然治癒する小児の患者さんに対して、なるべく自然治癒を阻害しないように心がけてきました。不要な薬はなるべく使用せず、本当に薬が必要な場合には積極的に使用するようになってきました。

・発達外来では、当初てんかんも診療し脳波検査も行っていましたが、緊急時の対応が難しいことや、脳波検査施行が諸事情で難しくなってきたため、今は行っていません。発達に心配のあるお子さんや、神経発達症のお子さんの診療は継続しています。非常勤の公認心理士2名が発達検査を行っておりますが、人的時間的制約からできることは限られており、不十分な点は多々ありました。しかし、不十分であっても当院でできることをやることで地域のお役にたてるのならという思いで継続してきました。アレルギー外来では食物アレルギーを中心に本間医師が診療を行ってきました。

・新型コロナ流行時は、感染症とそれ以外の患者さんの分離や感染対策が大変な時期で、雨の日も雪の日も吹雪の日も、駐車場診療を行っていたのを思い出します。その頃は時折、宮澤賢治の「雨ニモ負ケズ」の詩を口ずさんでいました。この経験を活かし感染対策に取り組んでいます。

・予防接種の内容やスケジュールも10年間で様々な変化がありました。多くの方に予防接種を安心安全に受けてもらえるよう、案内や予約枠を都度検討してきました。

・開院10年で少子化も更に進んでいます。日本では2015年度には出生数年間100万人、15歳未満人口が1588万人だったのが、2024年度には出生数68万人、15歳未満人口1377万人で、こどもの数は10年間で14%ほど減少しています。長岡市でも10年前と比べこどもの数が20%減少し、出生数も60%程度になっています。戦後、日本は人口も経済も右肩上がりでしたが、1990年代以降は右肩下がりの経済、少子化が進んでおり、今後、経済と同様に右肩下がりの世の中になどに対応していくかが小児科でも課題になると思います。

・当院近辺の小児科クリニックも10年で4つ閉院し、新たに6つ開院しました。現在、議論されているOTC類似薬の保険適応外の問題も、患者さんの医療費負担が増えるだけでなく小児科のありかたそのものも問われるような問題です。

・振り返ると10年間はあっという間に感じますが、これからの10年はどうでしょうか？みなさんが、明るく笑顔で、暮らせるお手伝いをしていけたらと思います。地域に必要とされるクリニックでありつづけられるように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。